

# 令和6年産 カルパーコーティング

## JA えちご中越 さんとう地域「カルパー直播コシヒカリ」栽培暦

★ 担い手・法人経営体の作期分散や省力・低コスト栽培を目指した作型です

月	4月					5月					6月					7月					8月					9月																								
日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25																				
出穂前後 日数																										-30					-18					-10					0					+42				
生育 ステ ージ	<p>○種子の準備 (10㎡当たり) コーティング前に通常の浸種～催芽 処理を行う(伸ばしすぎない) ・種子初(乾初換算) 2.5～3.0kg ・カルパー粉粒剤 16 2.5～3.0kg</p> <p>○ほ場の準備 ①本代かきの7日前頃に荒作 業を行い、ほ場を均平にする ②代かきは出来るだけ播種の直 前(1～2日前)に行い、初 期雑草の発生を抑える ③播種時の土のかたさはヨーグル ト状(乾かし過ぎに注意)播種 前の落水は、播種前日の夕方、 または当日の早朝に行う</p> <p>○苗立ち率 目標 80% 苗立ち数 50～80本/㎡ (鳥害等により苗立ち数が30本/㎡ 程度となっても、植え直しは不要)</p>																																																	
	<p>《ほ場の均平》 高低差目標 ±2.5cm 以内 《硬度に注意》 種子が出ないよう“やわらかめ”</p> <p>中干しは遅れずに 播種後40～45日を目安</p> <p>イネの生育状況確認～ イネ:1葉期に一発除草処理</p> <p>無駄な茎を とり過ぎない</p> <p>イネワーク 6/8～15</p> <p>イネワーク 7/6～13</p> <p>的確な生育診断による 適切な穂肥施用</p> <p>病害虫防除対策の徹底 (いもち病・カメムシ)</p> <p>気象予報と出穂以降の積算温度 にもとづく「刈取計画の策定」</p> <p>最高分けつ期 6月30日</p> <p>4葉期:一時落水 分けつ・発根の促進</p> <p>中干し開始 6月15日</p> <p>出穂30前に中干し終了</p> <p>幼穂形成期</p> <p>1回目穂肥 7月25日</p> <p>2回目穂肥 8月2日</p> <p>出穂期 8月12日</p> <p>収穫期 9月23日～</p>																																																	
水管理	<p>播種後10日間=出芽揃い期 (目標苗立ち数90%)まで落水管理</p> <p>一時湛水</p> <p>浅水管理</p> <p>中干し～溝切り</p> <p>飽水管理の継続(土壌水分と地耐力のバランス確保) ⇔ タメ水厳禁</p> <p>出穂後25日以降または用水の 最終通水日にかん水を実施!!</p> <p>畦畔に沿って額縁状に溝を切って排水を促す →排水不良田ではさらに対角線状に作溝する</p> <p>《落水出芽》</p>																																																	
栽培 管理 の ポ イ ン ト	<p><b>Point 1</b> ～発芽・苗立ちの安定に向けて 代かき作業を丁寧にいきます～</p> <p>① 仕上げ代かきは播種直前に 実施(播種1～2日前)→播 種時に十分覆土される田面 硬度とする</p> <p>② 田面の均平作業はていねいに →高低差目標 ±2.5cm以内</p> <p>③ 土壌診断結果に基づく「土づく り肥料の施用」</p>																																																	
	<p><b>Point 2</b> ～適期播種・適正管理により 初期生育を促します～</p> <p>① 播種量:2.5～3.0kg/10a、苗 立ち率:80%、苗立ち数:50～80 本/㎡、播種深度:1cm程度</p> <p>② 播種後10日間は落水状態を保 ち出芽を促進(出芽揃い期:目標 苗立ち数の90%を確保したら入水)</p> <p>③ 播種後10～14日(イネ:1葉期) に除草剤(一発処理)を散布</p>																																																	
<p><b>Point 3</b> ～生育状況にあわせた生育調節で 根・茎の健全化を図ります～</p> <p>① イネ4葉期前後に3～5日程度、一時 落水管理(田干し)する(水の更新) →分けつ・発根の促進</p> <p>② 播種後40～45日(稲7葉期:目標 穂数の80%=茎数300本/㎡)を 目安に中干しを開始する</p> <p>③ 全ほ場で溝切りを実施(10条:3m に1本の間隔)</p>																																																		
<p><b>Point 4</b> ～適切な水管理により 稲体機能を維持します～</p> <p>① 中干しは、小ヒビが入る程度にな ったら終了する</p> <p>② 中干し以降は、田面が強くて乾く ことがないように飽水管理を継続 (強い中干し・タメ水→厳禁)</p> <p>③ 完全落水は、出穂後25日以降を目 安に実施(暗渠開放→遅く)異常 高温時:速やかに一時湛水</p>																																																		
<p><b>Point 5</b> ～適切な生育診断による穂肥施用 →品質・収量を確保します～</p> <p>① 1回目穂肥は生育診断～生育状 況に応じて、出穂前18～15日に 施肥(籾数確保・倒伏防止)</p> <p>② 2回目穂肥(出穂前10日)は、 確実に施肥して後期栄養を確保</p> <p>③ 急激な葉色低下がみられた場合 は追加穂肥を施肥(過剰施肥は 避ける)</p>																																																		
<p><b>Point 6</b> ～適期刈取、適切な作業により 高品質米に仕上げます～</p> <p>① 出穂後の積算気温(1000℃)、籾 の黄化率(85～90%)を確認～適 期収穫する(異常高温時は早めの 収穫を検討)</p> <p>② 適切な乾燥・調製作業による高品質 米仕上げ</p> <p>③ 収穫後は、早めに土づくり資材の投 入+稲わらすき込み</p>																																																		
<p>《施肥のめやす》 (成分 kg/10a)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>時期</th> <th>N成分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土づくり</td> <td>収穫後</td> <td>-</td> <td>稲わら秋すき込み 有機質・けい酸資材</td> </tr> <tr> <td>基肥</td> <td>～田植え</td> <td>1.0～1.5</td> <td>地力に応じて</td> </tr> <tr> <td>穂肥1</td> <td>出穂18～15日前</td> <td>1.0</td> <td>遅れずに施肥～籾数確保</td> </tr> <tr> <td>穂肥2</td> <td>出穂10日前</td> <td>1.0～1.5</td> <td>しっかり施肥～登熟向上</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>3.0～4.0</td> <td>*一発基肥 トータルN:5.4kg</td> </tr> </tbody> </table>																									区分	時期	N成分	備考	土づくり	収穫後	-	稲わら秋すき込み 有機質・けい酸資材	基肥	～田植え	1.0～1.5	地力に応じて	穂肥1	出穂18～15日前	1.0	遅れずに施肥～籾数確保	穂肥2	出穂10日前	1.0～1.5	しっかり施肥～登熟向上	合計	-	3.0～4.0	*一発基肥 トータルN:5.4kg		
区分	時期	N成分	備考																																															
土づくり	収穫後	-	稲わら秋すき込み 有機質・けい酸資材																																															
基肥	～田植え	1.0～1.5	地力に応じて																																															
穂肥1	出穂18～15日前	1.0	遅れずに施肥～籾数確保																																															
穂肥2	出穂10日前	1.0～1.5	しっかり施肥～登熟向上																																															
合計	-	3.0～4.0	*一発基肥 トータルN:5.4kg																																															
<p>《生育のめやす》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生育ステージ</th> <th>時期</th> <th>草丈 (cm)</th> <th>茎数 (本/㎡)</th> <th>葉色 (SPAD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目穂肥</td> <td>7/25</td> <td>70</td> <td>450</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>2回目穂肥</td> <td>8/2</td> <td>78</td> <td>410</td> <td rowspan="2">31～33</td> </tr> <tr> <td>出穂期</td> <td>8/12</td> <td>91 (稈長)</td> <td>380 (穂数)</td> </tr> </tbody> </table>																									生育ステージ	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD)	1回目穂肥	7/25	70	450	34	2回目穂肥	8/2	78	410	31～33	出穂期	8/12	91 (稈長)	380 (穂数)							
生育ステージ	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD)																																														
1回目穂肥	7/25	70	450	34																																														
2回目穂肥	8/2	78	410	31～33																																														
出穂期	8/12	91 (稈長)	380 (穂数)																																															
<p>《品質向上・収量確保目標》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>玄米1等級比率</th> <th>90%以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10当たり収量</td> <td>480kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>《品種特性》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>早晩生</th> <th>耐倒伏性</th> <th>葉いもち・穂いもち</th> <th>紋枯病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中生</td> <td>弱</td> <td>真性抵抗性を持つ</td> <td>やや弱</td> </tr> </tbody> </table> <p>《収量構成要素》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>収量 (kg/10a)</th> <th>1穂籾数 (粒)</th> <th>穂数 (本/㎡)</th> <th>㎡ 籾数 (百粒)</th> <th>登熟歩合 (%)</th> <th>千粒重 (g)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>480</td> <td>70</td> <td>380</td> <td>266</td> <td>84.0</td> <td>21.5</td> </tr> </tbody> </table>																									玄米1等級比率	90%以上	10当たり収量	480kg	早晩生	耐倒伏性	葉いもち・穂いもち	紋枯病	中生	弱	真性抵抗性を持つ	やや弱	収量 (kg/10a)	1穂籾数 (粒)	穂数 (本/㎡)	㎡ 籾数 (百粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	480	70	380	266	84.0	21.5		
玄米1等級比率	90%以上																																																	
10当たり収量	480kg																																																	
早晩生	耐倒伏性	葉いもち・穂いもち	紋枯病																																															
中生	弱	真性抵抗性を持つ	やや弱																																															
収量 (kg/10a)	1穂籾数 (粒)	穂数 (本/㎡)	㎡ 籾数 (百粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)																																													
480	70	380	266	84.0	21.5																																													